

# 北広島町デジタル町民ファースト宣言

北広島町は、ウィズコロナ時代における様々な変化を変革の契機と捉え、多様化する地域課題にデジタル技術などを積極的に活用することにより、すべての町民が豊かに暮らすことを目指して、町民ファーストの視点を大切に行政サービスへの転換に挑戦していきます。

令和3年5月18日 北広島町長 箕野 博司

## 【めざす姿】

### 「行政のデジタル化による新たな価値創造への挑戦」

町民の利便性を高め、業務の更なる効率化を図るため、「北広島町行政サービスDX戦略」にもとづく新たな行政サービスを、行政と住民が一体となり構築していきます。

## 【戦略の基本方針】

- ・町民ファーストの視点で考える
- ・現場主義（失敗を生かす風土の構築）
- ・町職員が主体的に関わる意識の醸成

## 【重点課題】

スマートタウンの実現へ向けて、めざす姿や基本方針などをもとに、次の重点課題8項目に取り組んでいきます。

# デジタル町民ファースト 8つの挑戦

## 1 押印・書面・対面業務の見直し

窓口での申請書の簡素化や押印廃止などサービスの見直しを図ります。

## 2 手続きのオンライン化による窓口での待ち時間短縮(混雑緩和)

手続きのオンライン化により、24時間365日止まらないサービスの実現へ向けて挑戦します。

## 3 キャッシュレス決済の導入

手数料や利用料などの支払いが、キャッシュレスでできる環境をつくります。

## 4 アプリケーションツールを活用した行政サービスの提供

アプリケーションツールによるタイムリーな情報配信や行政手続きができる仕組みをつくります。

## 5 RPA・AIの実証及び導入

RPA（デジタルロボットによる業務の自動化）・AI（人工知能の活用）などの導入により、業務のムダを削ります。

## 6 リモートワークやオンライン会議の促進

新しい生活様式に対応した働き方に、役場が率先して取り組みます。

## 7 デジタル普及員制度の構築

町民のみなさんが等しくデジタルサービスを享受できるようサポート体制をつくります。

## 8 FTTHを活用した新たなサービスの創造

FTTH（光ブロードバンドネットワーク）を基盤とした新たなサービスを町民のみなさんと一緒に考えていきます。